



今村 定一

厚生福祉常任委員会

質問

保健医療センターの運営効率化のための介護・療養入院施設の老人保健施設への転換時期及び次期指定管理者への考え方について。

町長答弁

厚生労働省の示す転換後の医療点数の予想以上の低さから転換時期を見送ってきた。一方施設入居待機者が町に50名ほど存在する現実を考える必要がある。病院改革プラン作成に当たり、指定管理者と協議の結果療養と介護の50床全てを老人保健施設に転換、年間の利用率を90%にすることで町

民ニーズへの対応と経営面で最良の策と考える。転換の時期は21年度中の実施予定で考えている。次期指定管理者公募の考え方については公募によらない候補者の選定を考えていることから引き続き地域医療振興協会を考えている。

質問

基幹病院開院後の医療センターの位置付けと町民への利用周知について。

町長答弁

基幹病院の建設開院に向けての、公立病院の再編後の医療体制の素案が示され

た。当町が心配していた、産科と人工透析の機能は六日町病院に残されることが明記されている。今後役割分担が具体化する中で、当町の利用者が不利益にならないように注視していく。また再編後基幹病院への通院が余儀なくされ、費用面や社会的負担が強いられる場合は、行政として軽減策を講じることも必要と考えている。町立病院と基幹病院および周辺医療機関との連携を強固に一次から三次医療の役割分担を明確にすることで、町民が安心して医療を受けることができるように環境を構築していく。

質問

特定検診への取り組み方と新年度の健康づくりの体制について。ペナルティ回避のための特定検診受診率の底上げと町民への周知の策は。

町長答弁

ファミリー健康プランの実施中間報告の年度、その結果を踏まえ各事業を展開

していくことになる。生活習慣病、介護予防対策とあわせて医療費削減に向けた事業として、これまで病院側で実施してきた「温水健康体操教室」は希望者が多いことから、本年度は町単独事業として12回から15回に増やして実施します。特定検診取り組み五カ年計画の初年度現在の数値は

54・5%の受診率でありま
す。今年度57%を目標に広報や集会等の機会を通じて周知をし、5年後の目標数値65%以上を達成できるように努めていきます。



温水健康体操教室が本年度は15回になりました